

新晃工業

“空気質改善に貢献する豊かな製品群”

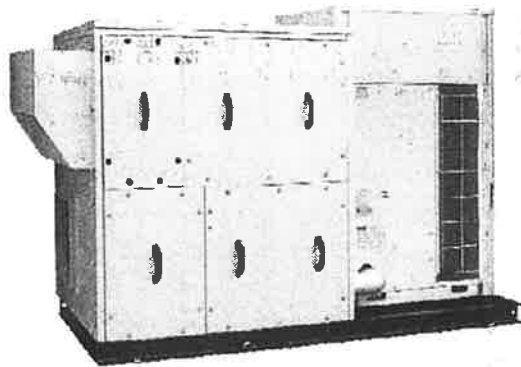
2022年の動向に注目

HPエアハン「オクージオ」

空調機器の総合メーカー、新晃工業（社長 永藤氏、本社・大阪市北区）の2021年を製品軸で振り返ると、まず挙げられるのは「健康空調」シリーズのラインアップ強化。「健康空調」は、不特定多数が集まる空間の空気を取り込み、超高出力の紫外線（UVC）ランプを照射することで浮遊細菌やウイルスを分解・除去し、浄化した空気を室内に供給する仕組み。当初は医療福祉施設などでの需要を想定していたが、空間における空気質環境改善に対する関心の高まりとともにショッピングモールなど大空間でのクリーンな空気の供給へと裾野が広がってきた。

こうした中で市場投入したのが「健康空調カセット型ファンコイルユニット（FCU）」。同FCUは、強力な紫外線照射で細菌やウイルスの除去が可能で、200nm以下の波長をほとんど含まないため人体に悪影響のある2次汚染物質が発生する心配がない。内部にUVCランプを組み込んでいるため、機外への紫外線漏洩の心配もなく、点検用パネルを開けるとUVCランプが切れる安全装置も装備している。

既設品へのリプレイスに際して機器本体への大がかりな工事が不要で、天井パネルの交換と簡単な接続工事だけで簡単にUVCランプ搭載機器へグレードアップできるという。



モデルチェンジした「オクージオ」

備に後付け設置できるもので、空調ダクトを介して微細なミストを大空間に行き渡らせ、保温することによって除菌効果を発揮する。

昨年5月に発表された中期経営計画「move・2025」（2021年度～2024年度）の重点実施項目の一つに挙げられているのがヒートポンプ（HP）AHUの強化。その中核製品が空調機本体と室外機をセットにしたオールインワンタイプの「オクージオ」（2021年3月モデルチェンジ機種発表）だ。従来機よりさらにサイズをスリム化し、設置床面積を従来機比18%縮小。屋外の小さなスペースに設置でき、施工期間の短縮やメンテナンス作業の集約化などを実現する。試運転調整まで行ったらえで納品するため、現地での作業は設置と電気設備工事のみ。このため大幅な工期短縮と施工費用の削減を実現できる。室外機一体型でコンパクトなうえ、屋外設置型のため機械室が不要。居室や機械室に入ることなく、屋外一か所だけでメンテナンス作業が行える。

コロナ禍を契機に大きく変化した社会ニーズに 대응する製品ラインアップや戦略機種の2022年における動向が注目されそうだ。